

“革命の終わり、 終わりの革命 1789-1989

ビューヒナー『ダントンの死』を読み直す”

■講師 ミヒャエル・ヴェッツェル Michael Wetzel (ドイツ・ボン大学名誉教授/ドイツ文学・メディア学)

■講師&通訳 柏木貴久子 (関西大学教授/ドイツ文学・ドイツ文化論)

■日時 10月28日(日) 18:00~21:30 (途中休憩あり)

おおよその流れ

18:00~19:15 『ダントンの死』 作品解説 (柏木)

19:30~21:15 講演『革命に疲れた闘士たち』 (ヴェッツェル)

21:15~21:30 Q&Aコーナー

■料金 1,000円

■対象 演劇経験不問

ビューヒナー『ダントンの死』や、ベルリンの壁崩壊について、
関心をお持ちの方ならどなたでも歓迎いたします。

■お申し込み方法 参加ご希望の方は、

①お名前

②ご連絡先(電話番号・メールアドレス)を、

下記、劇団メール宛にお知らせ下さい。

*お申し込みされた方には確認のため、info@seiryu-theater.jpより
返信させていただきますので、事前にこちらのメールアドレスが
受信できるように設定しておいてください。

■申込締切日 10月27日(土)

■お問い合わせ・申し込み先

清流劇場 e-mail: info@seiryu-theater.jp

web: https://seiryu-theater.jp

■会場のお問い合わせ 一心寺シアター倶楽: 06-6774-4002

■企画・制作 清流劇場

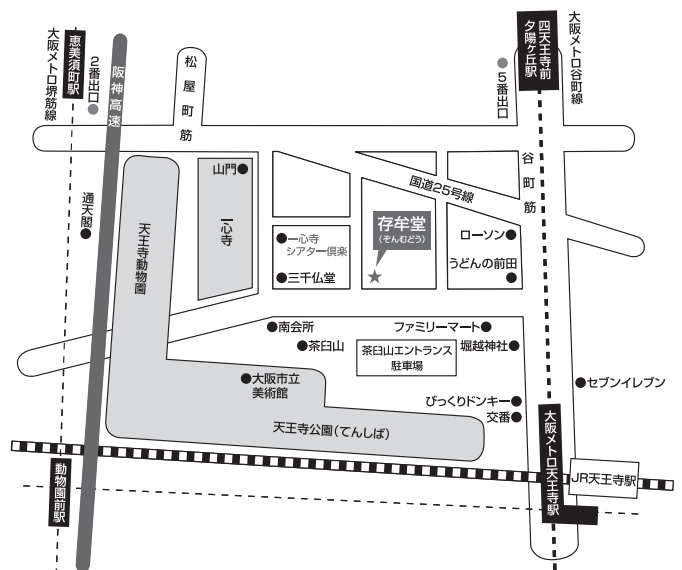
■協力 一心寺シアター倶楽

ジョルジュ・ダントン——フランス革命(1789年)で活躍したこの
民衆の指導者は、数年後、革命組織内部の分裂抗争の中で処刑され
てしまいます。劇作家ゲオルク・ビューヒナーはこのダントンの
史実をもとに『ダントンの死』(1835年)を書き上げます。

次回の清流劇場公演(2019年3月)では、この『ダントンの死』を
もとに、同じく革命的出来事だったベルリンの壁崩壊(1989年)
も視野に入れた新作『壁の向こうのダントン -Dantons Tod』を上
演予定です。

新作上演を前に、広く一般の方にも参加していただける勉強会を企
画しました。今回はドイツからヴェッツェル先生にご登壇いただく
運びとなりました。どなた様もふるってご参加ください。

田中孝弥



■会場 一心寺 存牟堂(ぞんむどう)

〒543-0062 大阪府大阪市天王寺区逢坂2-4-13

*各線「天王寺駅」、大阪メトロ谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」5番出口、
大阪メトロ堺筋線「恵美須町駅」2番出口より、徒歩10分

お客様用の駐車場はございません。

お車で越しの場合は、近くのコインパーキングをご利用ください。